

コース・シラバス

コース名：宣教学Ⅲ

単位数：2

担当：杉貴生

コースの概要

宣教とは何かをともに考え、宣教の民として生きるとはどういうことかを探求する。その目指す所は学生たちが教会の本質と使命について神学的に思考するということであり、それは宣教的な教会論についての理解の枠組みを与え、将来の牧会や奉仕において適用されていくことである。

コースの目的

- 教会と宣教の関係について学びを深める。
- 1世紀における教会の自己認識を学ぶことを通して、教会の本質と目的を理解する。
- 宣教についての幅広い理解を得る。
- 宣教の民としての自己認識（自覚）を確立する。
- 日本の教会、特に福音派教会が持っている一般的な福音や宣教についての理解の問題点を吟味する。
- 罪によって傷ついた世界に福音を届けることのできる宣教的共同体を育成していくための方法を探求する。

テキスト

クリストファー・ライト「神の宣教」

レスリー・ニュービギン「宣教学入門」

バーナード・オットー「シャローム神のプロジェクト」

参考図書

福田充男「宣教学リーディングス」

スコット・マクナイト「福音の再発見」

Alan Roxburgh, “Introducing the Missional Church”

Gerhard Lohfink, “Jesus and Community”

Takao Sugi, “Live God’s Calling”

Richard Peace, “Conversion in the New Testament”

レスリー・ニュービギン「ギリシャ人には愚かなれど」

スケジュール

講義 1 「イントロダクション」

講義 2 「教会と宣教」

講義 3 「神の宣教①」

講義 4 「神の宣教②」

講義 5 「神の宣教③」

講義 6 「ミSSIONナル・チャーチ①」

講義 7 「ミSSIONナル・チャーチ②」

講義 8 「ミSSIONナル・チャーチ③」

講義 9 「イエスと共同体①」

講義10「イエスと共同体②」

講義11「イエスと共同体③」

講義 12 「クリスチャンの召し」

講義 13 「ミニストリー・イン・デイリーライフ」「回心」

講義 14 「スモールグループミニストリー」

講義 15 「プロジェクト発表」

アサインメント

1. リーディング

学生は次回の講義で取り扱うテキストを事前に読んでくる。リーディングの箇所はその都度、担当教師が指定する。テキスト以外のリーディングが求められることもある。

2. レポート

学生は講義についてのレスポンス、あるいは事前のリーディングに伴うレポートが求められる。具体的な内容はその都度、担当教師が伝える。

3. 宣教に関するプロジェクトと発表

学生は宣教に関するプロジェクト（子ども、青年、高齢者、地方、災害、環境、ビジネス、貧困、開拓等）をひとつ選び、その宣教的、神学的意義を考察し、その課題や具体的適用等をまとめてクラスの中で発表する。

評 価

クラス出席（20%）、ディスカッション（20%）、リーディング（20%）、レポート（20%）、プロジェクトと発表（20%）で行う。試験は行わない。